

MEG II 実験における輻射崩壊同定のための DLC-RPC の電極構造の開発

Monday 19 February 2024 22:10 (10 minutes)

MEG II 実験では新物理の証拠となる $\mu \rightarrow e\gamma$ 崩壊を探索する。背景事象同定用の検出器がターゲット上流側と下流側に設置される。特に上流側の検出器は大強度かつ低運動量ミューオンビームが通過するため、その開発には厳しい要請が課されている。上流側の検出器として開発しているのが、Diamond-Like-Carbon を高抵抗電極に使用した Resistive Plate Chamber である。検出器の電極のギャップを保持するピラーの形成が原因で検出器の動作の不安定性が問題となっていた。本講演では、電極構造を改善した検出器での動作試験を報告する。

Presenter: 鈴木大夢 (神戸大学)

Session Classification: ポスターセッション (Poster Session)